

◇デジタル田園健康特区 実証調査事業

No	事業名	参加企業等	概要	進捗状況（11/22時点）
1	遠隔アプリを活用した持続可能性の高い小児オンラインかかりつけ医体制の構築	株式会社リーバー	医療機関に限られる中山間地域において、特に減少傾向にある小児科医の時間外（夜間・休日）対応に地域外の医師と連携したオンライン健康医療相談・診療を導入し、保護者の不安感軽減と、医療機関の負担軽減を図る。また、相談内容が地元かかりつけ医に効率的に連携される仕組みの構築を目指す。	今回使用する「リーバー」アプリは、市内小中学校にて既に導入されており、本事業を実施するうえで親和性が高いといった背景のなか、令和5年11月20日よりテキストチャットを通じて医師と医療相談ができるサービスを開始。随時参加者を募集するなかで、令和6年1月にはアプリ内で対話型のオンライン診療も機能追加される予定。令和6年3月に実証終了、効果測定の見通し。
2	健康医療情報の自治体を越えた連携におけるデータ流通コストの低減に係る調査	富士通Japan	データ形式の異なる健康医療情報を統一形式に変換する技術を活用し、電子カルテ・自治体情報・民間健康アプリ等の情報を統合することで、個人の健康増進支援を図るとともにデータの二次利用促進を目指す。	電子カルテ情報の標準化のため、大型システム改修をしなくても、情報変換（エクスチェンジ）によってデータ連携を行うための調査を行っている。 茅野市では、「インターネット系」「自治体業務系」「マイナンバー系」の各セグメントを超えた通信方法の検討も追加実施。
3	貨客混載を利用した過疎地域以外の中山間地域における医療品配送	アクセンチュア株式会社	中山間地域における移動困難者が容易に薬剤を受け取れるよう、タクシーを活用した、人と薬剤の貨客混載による薬剤配送を行うとともに、オンラインによる服薬指導の実用性の検証を行う。	諏訪薬剤師会、諏訪地区タクシー協会と事業スキームについて協議中。冬季を目途にサービス体験として小規模のPoCを実施する予定。

4	中山間地域における次世代地方パーソナルモビリティの安全運行システム構築と導入促進	森ビル株式会社	移動困難者のバス停から自宅まで等のラストワンマイルの交通手段（パーソナルモビリティ）として、シニアカー、電動車椅子の増速、増幅の検証を行う。	市民を対象としたシニアカー・特定小型原付の試乗体験会を様々な施設・イベントで実施し、アンケートを実施中。今後はその結果をまとめた動画を作成予定。
5	「コモングラウンドプラットフォーム」没入型コミュニケーションによる地方と大都市間での「遠隔授業」の実証・調査	東京大学生産技術研究所	双方向型デジタルツイン環境（コモングラウンド）環境の構築により、複数拠点からのリアルタイム没入コミュニケーションを実現することで、都心と地方での遠隔授業やコモングラウンド環境による単位取得等の可能性について検証を行う。	チノチノでの実証調査に向けて、こども課において調整中。
6	AI診断支援ソフト搭載のエコーを活用した地域医療介護におけるタスクシフト/シェア推進	学校法人藤田学園藤田医科大学	AI診断支援ソフトを搭載したエコーを看護師等が使用できることで、医療関係職種間でのタスクシフトの推進を実証するとともに、地域医療・介護を支える医療専門職の業務におけるエコー活用の有用性を検証する。	訪問看護師が患者宅で使用できるポケットエコーを用いて、利用するための研修を順次実施。市内3訪問看護ステーション等で研修実施ののち、在宅患者に対して排泄・嚥下機能の評価を進めていく。

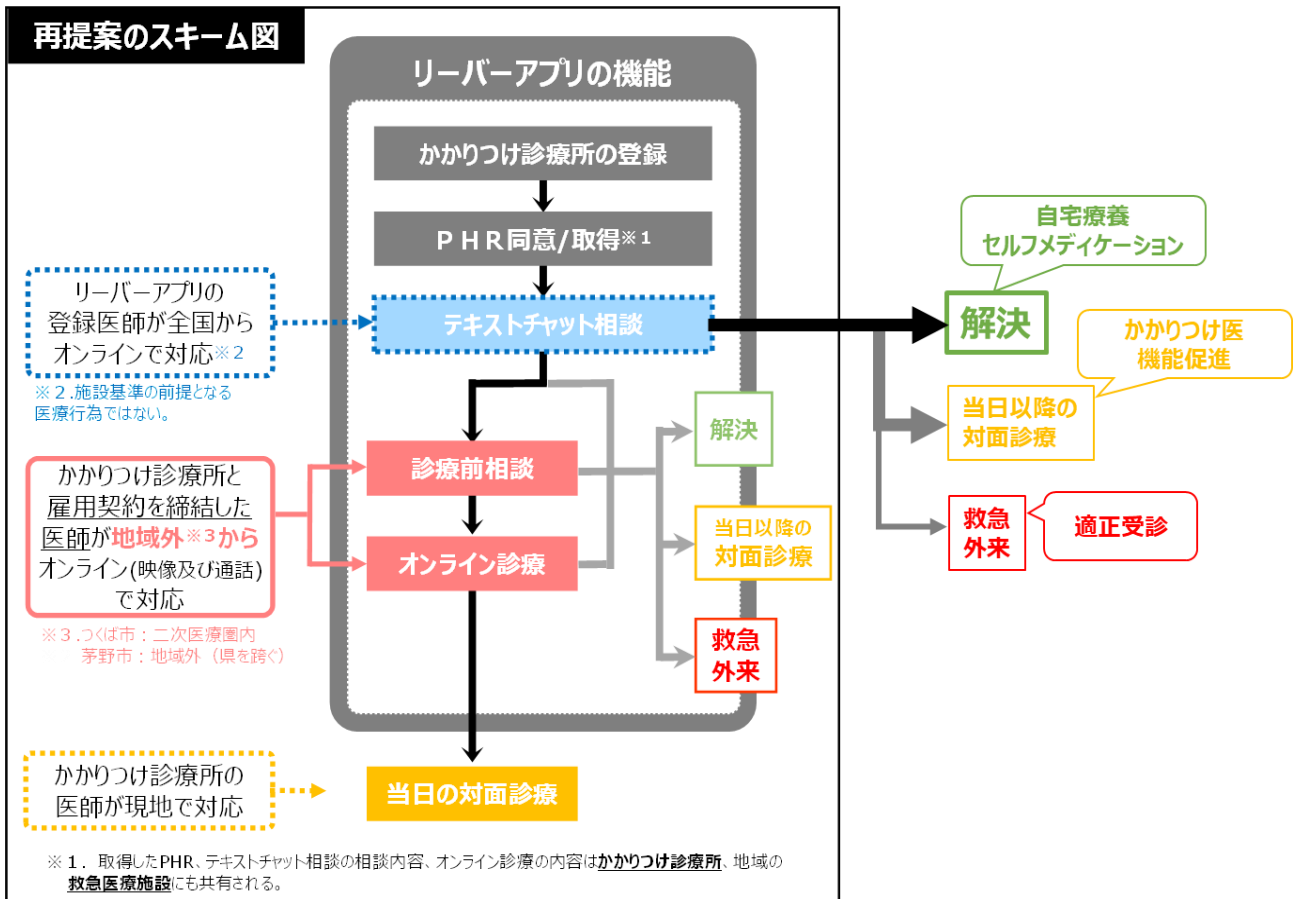
◇その他事業

7	茅野市どっとネットにおける地域コミュニティサービス機能を活用した回覧板等のペーパーレス化による行政区役員の負担軽減	アクセンチュア株式会社	行政区における回覧板やお知らせ等の周知をオンラインサービスにより配信することで、書類作成や配布等の行政区役員の負担軽減を図る。	中大塩地区をモデル地区として11/14から本運用開始。モデル地区の増加とサービス拡充のための支援内容の検討中。
---	---	-------------	---	---

デジタル田園健康特区 実証調査事業

事業名	遠隔アプリを活用した持続可能性の高い小児オンラインかかりつけ医体制の構築
参加企業	株式会社リーバー
事業概要	医療機関が限られる中山間地域において、特に減少傾向にある小児科医の時間外（夜間・休日）対応に地域外の医師と連携したオンライン健康医療相談・診療を導入し、保護者の不安感軽減と、医療機関の負担軽減を図る。また、相談内容が地元かかりつけ医に効率的に連携される仕組みの構築を目指す。
進捗状況 (11/22現在)	今回使用する「リーバー」アプリは、市内小中学校にて既に導入されており、本事業を実施するうえで親和性が高いといった背景のなか、令和5年11月20日よりテキストチャットを通じて医師と医療相談ができるサービスを開始。随時参加者を募集するなかで、令和6年1月にはアプリ内で対話型のオンライン診療も機能追加される予定。令和6年3月に実証終了、効果測定の見通し。

再提案のスキーム図



デジタル田園健康特区 実証調査事業

事業名	遠健康医療情報の自治体を越えた連携におけるデータ流通コストの低減に係る調査
参加企業	富士通Japan
事業概要	データ形式の異なる健康医療情報を統一形式に変換する技術を活用し、電子カルテ・自治体情報・民間健康アプリ等の情報を統合することで、個人の健康増進支援を図るとともにデータの二次利用促進を目指す。
進捗状況 (11/22現在)	電子カルテ情報の標準化のため、大型システム改修をしなくても、情報変換（エクステンジ）によってデータ連携を行うための調査を行っている。 茅野市では、「インターネット系」「自治体業務系」「マイナンバー系」の各セグメントを超えた通信方法の検討も追加実施。

図 1 エクステンジ機能を用いた統合データの活用イメージ

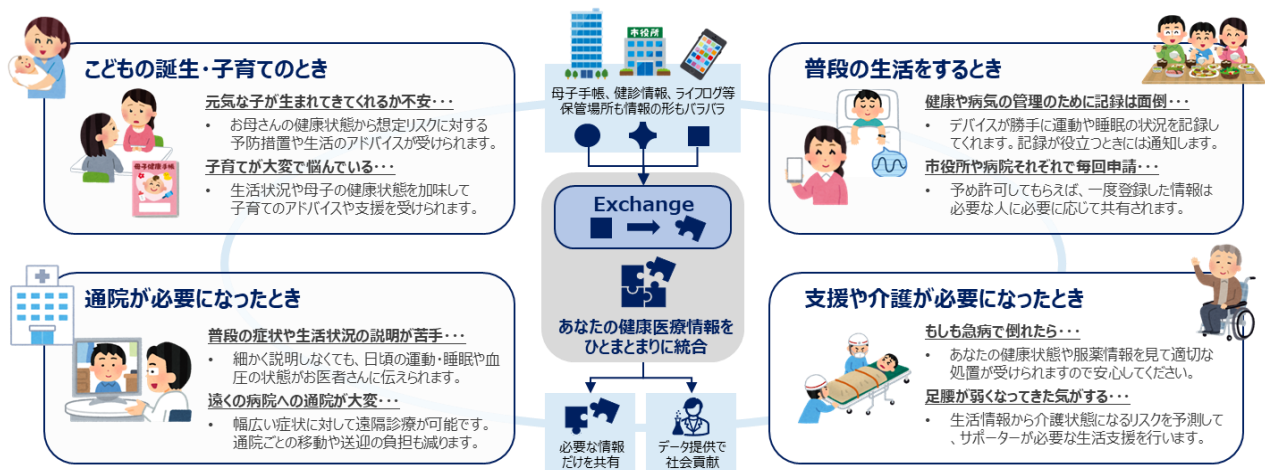
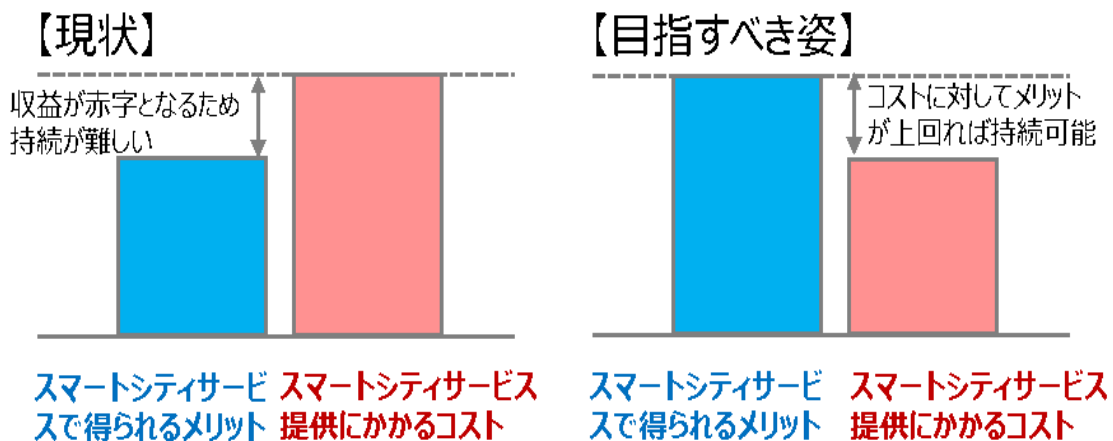


図 2 持続可能なデジタル田園都市の実現に必要なコスト構造の変化



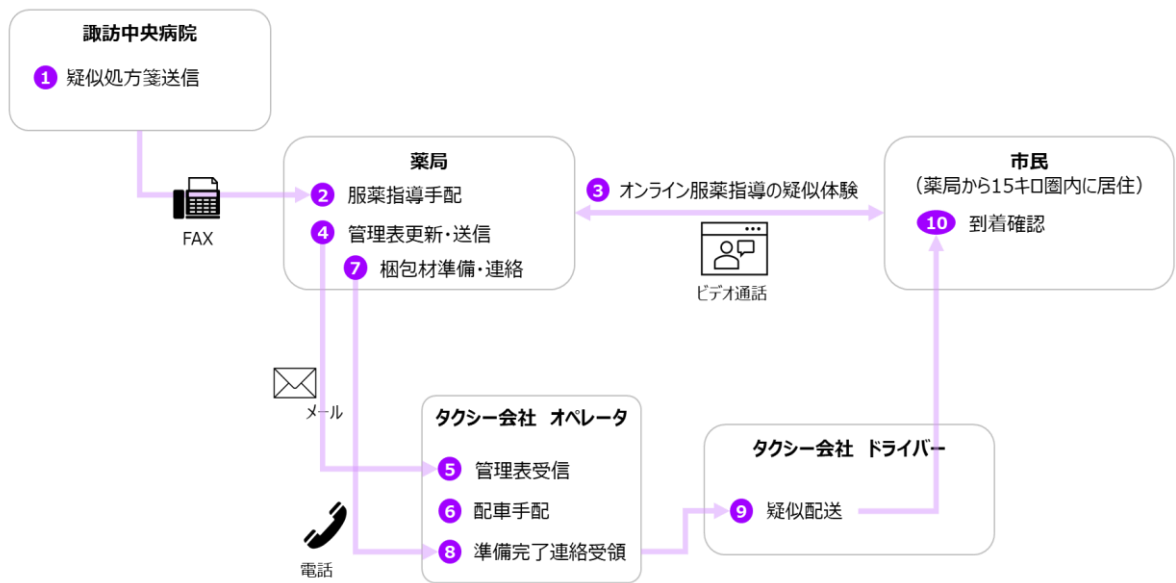
デジタル田園健康特区 実証調査事業

事業名	貨客混載を利用した過疎地域以外の中山間地域における医療品配送
参加企業	アクセンチュア株式会社
事業概要	中山間地域における移動困難者が容易に薬剤を受け取れるよう、タクシーを活用した、人と薬剤の貨客混載による薬剤配送を行うとともに、オンラインによる服薬指導の実用性の検証を行う。
進捗状況 (11/22現在)	諏訪薬剤師会、諏訪地区タクシー協会と事業スキームについて協議中。冬季を目途にサービス体験として小規模のPoCを実施する予定。

協議事項② サービス体験

### サービス体験実施イメージ

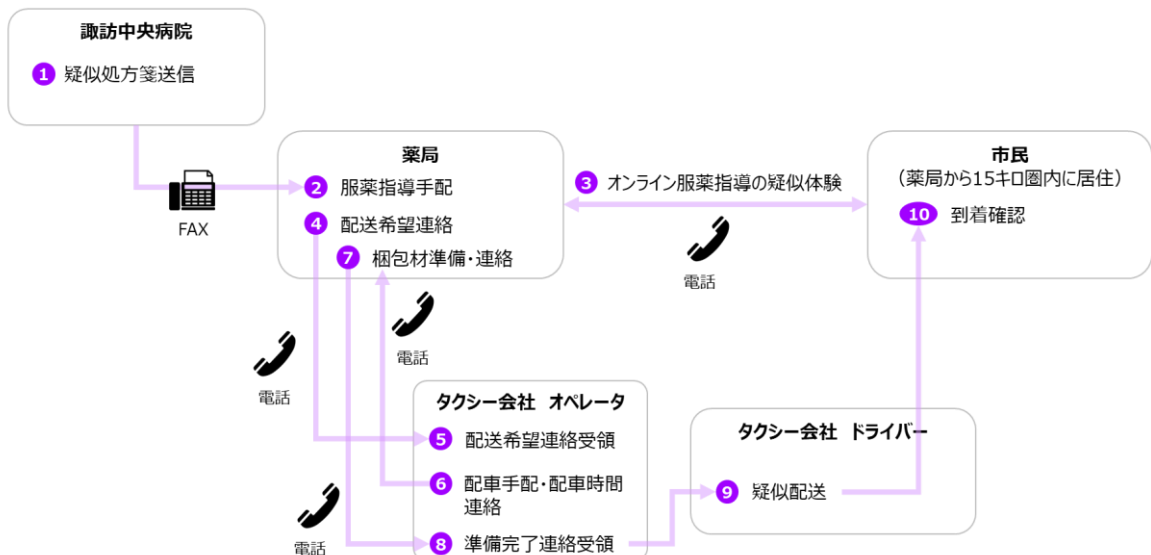
<複数配送×オンライン服薬指導の場合>



協議事項② サービス体験

### サービス体験実施イメージ

<個別配送×電話による服薬指導の場合>



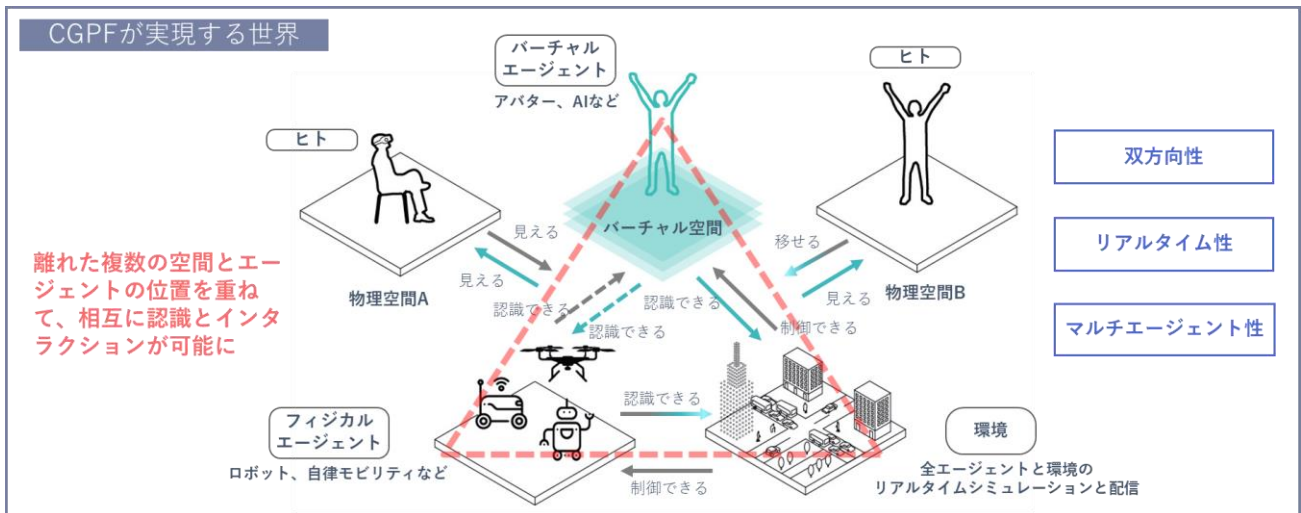
デジタル田園健康特区 実証調査事業

事業名	中山間地域における次世代地方パーソナルモビリティの安全運行システム構築と導入促進
参加企業	森ビル株式会社
事業概要	移動困難者のバス停から自宅まで等のラストワンマイルの交通手段（パーソナルモビリティ）として、シニアカー、電動車椅子の増速、増幅の検証を行う。
進捗状況 (11/22現在)	市民を対象としたシニアカー・特定小型原付の試乗体験会を様々な施設・イベントで実施し、アンケートを実施中。今後はその結果をまとめた動画を作成予定。

⇒シニアカーに追従 <https://youtu.be/yeW5iBtp9Ag>  
 ⇒人に追従（障害が入った場合に追従停止する様子） [https://youtu.be/Cy3B23\\_eGUY](https://youtu.be/Cy3B23_eGUY)  
 ⇒人に追従（坂道上り下り） <https://youtu.be/4JonbfqXUDs>  
 ⇒往路 <https://youtu.be/9mXVRuAqkLo>  
 復路 <https://youtu.be/m1Y4H3JeKcY>

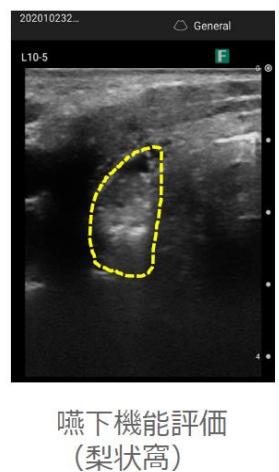
デジタル田園健康特区 実証調査事業

事業名	「コモングラウンドプラットフォーム」没入型コミュニケーションによる地方と大都市間での「遠隔授業」の実証・調査
参加企業	東京大学生産技術研究所
事業概要	双方向型デジタルツイン環境（コモングラウンド）環境の構築により、複数拠点からのリアルタイム没入コミュニケーションを実現することで、都心と地方での遠隔授業やコモングラウンド環境による単位取得等の可能性について検証を行う。
進捗状況 (11/22現在)	チノチノでの実証調査に向けて、こども課において調整中。



デジタル田園健康特区 実証調査事業

事業名	AI診断支援ソフト搭載のエコーを活用した地域医療介護におけるタスクシフト/シェア推進
参加企業	学校法人藤田学園藤田医科大学
事業概要	AI診断支援ソフトを搭載したエコーを看護師等が使用できることで、医療関係職種間でのタスクシフトの推進を実証するとともに、地域医療・介護を支える医療専門職の業務におけるエコー活用の有用性を検証する。
進捗状況 (11/22現在)	訪問看護師が患者宅で使用できるポケットエコーを用いて、利用するための研修を順次実施。 市内3訪問看護ステーション等で研修実施ののち、在宅患者に対して排泄・嚥下機能の評価を進めていく。



**※今年度の実証では、更に実証施設、実践するサンプル数を増やし、実臨床において“AI診断支援ソフトの有用性”を実証し、プロトコルの確立を進める**



市単独事業

事業名	茅野市どっとネットにおける地域コミュニティサービス機能を活用した回覧板等のペーパーレス化による行政区役員の負担軽減
参加企業	アクセンチュア株式会社
事業概要	行政区における回覧板やお知らせ等の周知をオンラインサービスにより配信することで、書類作成や配布等の行政区役員の負担軽減を図る。
進捗状況 (11/22現在)	中大塩地区をモデル地区として11/14から本運用開始。モデル地区の増加とサービス拡充のための支援内容の検討中。

